

真偽問題 正しいものは①、正しくないものは②にマークしなさい。

①、②以外を塗りつぶすと誤答になります。

問(1) 下記の譜面の音符の音名は英語表記で”E”である。



問(2) 同じ音を主音にした長調と短調を、同主調という。

問(3) フレデリック・ショパン国際ピアノコンクールは、4年に1度開催される。

問(4) ピアノ協奏曲とは、ピアノ 1 台で演奏する曲である。

問(5) 音が伝わる速度は、空気中よりも水中の方が速い。

問(6) エラールがレペティションアクションを発明したのは、1821 年のことである。

問(7) ピアノの錆やカビは、乾燥した冬季に発生することもある。

問(8) ピアノ弦に用いられるミュージックワイヤーは、工業用のピアノ線と同じものである。

問(9) 響板に用いられる木材は、板目になるように木取りする。

問(10) 鍵盤には、折れないようブナ材が用いられる。

問(11) 音叉の温度が下がると、ピッチが低くなる。

問(12) 平均律では、”A#”と”Bb”は同じ振動数である。

問(13) 33F-38A#と 38A#-45F の唸りが1:1であれば、33F-45F のオクターブは正しい。

問(14) 調律曲線は、フルコンサートピアノより小型のピアノの方が平らになる。

問(15) 完全5度の音程比は、2:3である。

問(16) 黒鍵の高さは、白鍵より 15mm ほど高くする。

問(17) 白鍵どうしの隙は、フロントピンを左右に傾けて調整する。

問(18) ブライドルワイヤーの前後調整は、ペダル調整の後に行う。

問(19) ハンマーストップ(バックストップ)は、狭いほど連打性能が向上する。

問(20) アップライトピアノのキャプスタンボタンを奥方向に調整すると、タッチは軽くなる。

問(21) 弦が切れたとき、決められた太さの弦で張り替えるのが良い。

問(22) 弦を張った後に、チューニングピンを打ち込んではならない。

問(23) ハンマーシャンクが折れた時の修理では、ハンマーヘッドは元のものを使用するのが望ましい。

問(24) ハンマーがスティックしているときは、バットプレートスクリューを少し緩めると良い。

問(25) 自動演奏ピアノの鍵盤・ペダルの駆動装置には、電磁石が使われている。

多肢択一(3択)問題

各問から、適切なものを1つ選びなさい。2つ以上選ぶと誤答になります。

問(26) 下記の譜面の2音の音程で正しいものを1つ選べ。

1. 長3度
2. 短3度
3. 短2度



問(27) へ長調の説明として、正しいものを1つ選べ。

1. 調号は、＃が1つである。
2. 平行調は、へ短調である。
3. 属音の音名は、「ハ」である。

問(28) 音の唸りについて、正しいものを1つ選べ。

1. 唸りは音の回折という性質による。
2. 唸りは音の共鳴という性質による。
3. 唸りは音の干渉という性質による。

問(29) 次の記述から、正しいものを1つ選べ。

1. クラビコードは、音量が大きいため、大きなホールでの演奏に向いている。
2. チェンバロは、ビブラートをつけることができる。
3. ダルシマーは、ハンマーで弦を打つことで演奏する。

問(30) ピアノの手入れ・使用環境について、一番適切なものを選べ。

1. 常温では、湿度が 30%前後が最適である。
2. 床暖房が、ピアノにとって最適な暖房である。
3. アクリル樹脂製の白鍵にアルコールを使用すると、割れることがある。

問(31) ミュージックワイヤーについて、正しいものを1つ選べ。

1. 断面は、真円である。
2. 素材は、軟鉄である。
3. 直径1mm の番手は、13 番である。

問(32) チューニングピンについて、正しいものを1つ選べ。

1. 材質は軟鉄である。
2. 頭部は四角形でテーパーが付けられている。
3. 通常直径 8.0mm のものが用いられる。

問(33) ピアノフレームに関して、次の記述から正しいものを1つ選べ。

1. 弦振動がフレームで良く共鳴するように、駒とフレームは必ず接触させる。
2. 材質は、軽くするためアルミ合金である。
3. フレームは、支柱などとともに約20トンある弦の張力を支える。

問(34) 響板に使用される木材の条件として、正しくないものを選べ。

1. 硬くて丈夫な木材であること。
2. 振動伝播速度が速いこと。
3. 節がなく、木目がまっすぐで間隔が揃っていること。

問(35) セント法について、正しいものを1つ選べ。

1. 純正調の半音の音程は、100セントである。
2. 1オクターブの音程は、1200セントである。
3. 平均律の長3度は、386セントである。

問(36) 音律に関する記述として、正しいものを1つ選べ。

1. 純正調音階の主和音の長3度は、384 セントである。
2. 純正調音階の主和音の短3度は、326 セントである。
3. 純正調音階の主和音の完全5度は、702 セントである。

問(37) 次の記述で正しいものを1つ選べ。

1. 平均律で調律した場合、37A と42D の唸りが基準より速い場合は、42D は基準より高い。
2. 平均律で調律した場合、長3度はすべて同じ速さで唸る。
3. 音叉と21F の唸りの速さが、21F と49A の唸りの速さと同じ場合、49A と音叉は同じ高さである。

問(38) 平均律割り振りについて、正しいものを1つ選べ。(基音は 37A。音域は 33F～45F とする。)

1. 33F-37A の唸りが基準より遅い場合、33F は低めにずれている。
2. 37A-41C#の唸りが基準より遅い場合、41C#は低めにずれている。
3. 37A-44E の唸りが純正の場合、44E は低めにずれている。

問(39) 倍音の説明として、正しいものを1つ選べ。

1. 2倍音は、基音に対して完全5度の関係にある。
2. 4倍音は、基音に対して2オクターブの関係にある。
3. 6倍音は、基音に対して3オクターブの関係にある。

問(40) カラ直し(ロストモーション)調整の説明として、もっとも適切なものを選べ。

1. ジャック先端とバットスキンの隙間を調整する工程である。
2. バックチェックワイヤーとブライドルワイヤーの隙間を調整する工程である。
3. ジャックとジャックストップレールの隙間を調整する工程である。

問(41) アップライトピアノの整調手順で、正しいものを1つ選べ。

1. 鍵盤の高さを調整確認した後、鍵盤の深さを調整する。
2. スプーンの掛かりを調整した後、ダンパー総上げをする。
3. ハンマーの向き(ねじれ)を直した後、ハンマーの走りを調整する。

問(42) アップライトピアノにおいて、1回の打鍵でハンマーが複数回打弦する原因として考えられるものを1つ選べ。

1. 鍵盤の深さ(あがき)が基準よりも過度に深い。
2. から直し(ロストモーション)で、過度のカラ(ロス)状態。
3. ジャックスプリングが外れている。

問(43) アップライトピアノのアクションの働きを少なくする方法として、正しいものを1つ選べ。

1. 基準よりも広いハンマー接近(レットオフ)を、基準通りに修正した。
2. 基準よりも浅い鍵盤の深さ(あがき)を、基準通りに修正した。
3. 基準よりも低い鍵盤の高さ(ならし)を、基準通りに修正した。

問(44) アップライトピアノの整調工程の記述で、正しくないものを1つ選べ。

1. スプーン掛けを調整すると、ダンパーレバーとスプーンの間隙が変わる。
2. ダンパー総上を調整すると、ダンパーレバーとダンパーロッドの間隙が変わる。
3. ハンマーストップ(バックストップ)を調整すると、働き量が変わる。

問(45) 断線修理について、最も適切なものを選べ。

1. 弦の引き上げは、打ち下ろしの後に行う。
2. ベアリング〜チューニングピンのワイヤーの高さを揃える。
3. 弦しごきの前にチップングを行う。

問(46) 張弦に関する記述で、正しいものを選べ。

1. 張弦後、弦が錆びないように、油をたっぷり塗布する。
2. 巻き線も錆びないように、油を塗る。
3. ミュージックワイヤーをねじって張ると、1本唸りの原因となることがある。

問(47) 鍵盤修理について、正しいものを選べ。

1. 白鍵上面(アクリル樹脂製)をはがす時は加熱する。
2. 黒鍵上面をはがすことはできないので、鍵盤ごと交換する。
3. フロントブッシングクロスは鍵盤内側への貼り付け量は、約 50mm である。

問(48) 修理に関する記述で正しいものを1つ選べ。

1. バットフェルトの接着は、全面を接着する。
2. 鍵盤のフロントブッシングクロスは、全面を接着する。
3. ハンマーとハンマーシャンクを接着する場合、接着剤がはみ出した時は、必ずふき取り、見栄えが悪くならないようにする。

問(49) センターピン交換の方法として、正しいものを1つ選べ。

1. トルクの調整は、ブッシングクロスにリーマーをかけて調整する。
2. センターピンの木部合わせは、抵抗なく挿入できる程度が良い。
3. センターピンの長さは、フレンジの幅よりわずかに短くなるようにカットする。

問(50) 消音ピアノの点検・調整方法として、正しいものを1つ選べ。

1. ダンパーペダル調整は、遊びを多くする。
2. 鍵盤の深さ(あがき)は、深めに調整する。
3. 調律カーブを電子音に合わせる必要はない。